

稚児衣装 着付 ガイド

はじめに!

衣装着付け方法は男女
同じ方法です

ごくらくや佛壇店

袋に入っているもの

1. 狩衣（かりぎぬ）
2. 袴（はかま）
3. 白衣（びやくえ）
4. 兵児帯（へこおび）
5. 男児：烏帽子（えぼし）
女児：天冠（てんかん）
6. 記念品：返却は不要です。
蓮（はす）
稚児念珠（ちごねんじゅ）
7. 稚児衣装着付ガイド（本書）

ご用意していただくもの

1. 下着（肌寒い頃は長袖が良い）
2. 靴または草履
履き慣れたものが良いです
3. 靴下または足袋
4. 白衣用細紐
しなくてもよい
5. 白衣の代わりに七五三の着物も可

ご注意

1. 履き物は草履（ぞうり）より履き慣れた靴の方が良いです（歩けなくなります）
2. 衣装着用中は食事・菓子・果汁等の飲食はご辛抱いただくか、前掛けをしてください
3. 袴（はかま）に泥等のハネが上がっても洗濯はせずにそのまま返却ください
4. 行事終了後は元の袋に入れてご返却ください
5. 「衣装渡し袋」の申込書（名札）をはがさずにご返却ください

ごくらくや佛壇店

電話 079-421-3000

1

下着・足袋を履く



肌寒い頃には長袖の白い下着
（トレーナー等）を着て
足袋（白靴下）を履きます



白衣（七五三等の着物でも可）を着ます
はだけにくいように腰のあたりを
細紐で締めても良いです



袴（はかま）白紐は
前紐側から腹部に当てます



袴（はかま）白紐（前紐）を
後ろ側に回して締めます



次に袴（はかま）白帯の後紐（腰板）を腰に当て、袴白紐（後紐）を前側に回します

注意：ここではまだ締めない



狩衣（かりぎぬ）は
袖は通さず羽織るようにします
注意：天人の羽のように見せるため、袖は通しません



次に狩衣（かりぎぬ）の前身頃（まえみごろ）を**5**で前に回した袴（はかま）白紐で締めます



兵児帯（へこおび）を
袴の白紐に重ねるように巻き
前側で大きな蝶結びにします



男児は烏帽子を被ります
前の太い紐をあごの下で蝶結びし
後ろの紐を耳の下で先ほどの太い紐に
ひっかけ首の後ろで蝶結びします



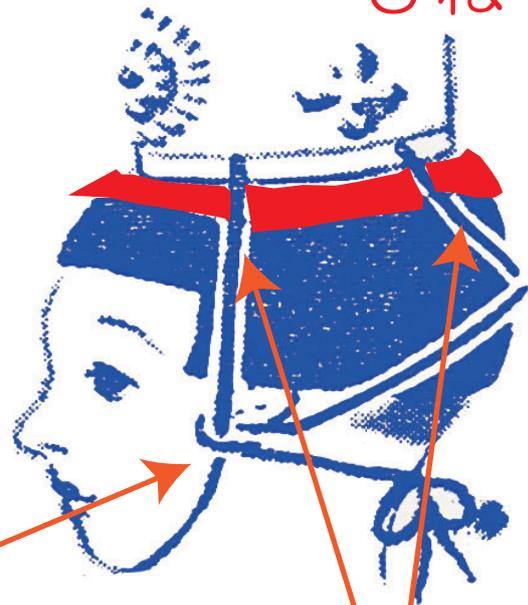
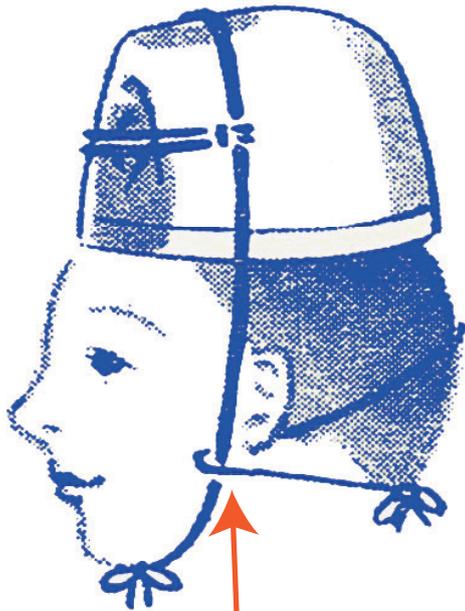
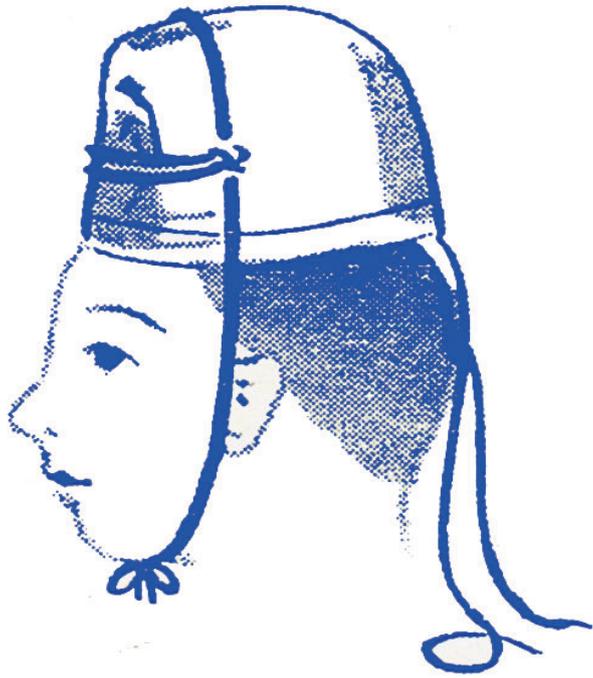
女兒は布団を頭の上へのせ
天冠（てんかん）を被ります
前側の輪になったあご紐を
あごの下に引っかけます



ヘアピン等で
止めるとずれ
にくくなる

後ろの紐を少し引き、あご紐を調整します。後頭部で2～3回紐をひねり耳の下あたりであご紐に引っかけて後頭部で蝶結びします

12 烏帽子・天冠紐の結び方



耳の下で紐を引っかけるとはずれにくくなります

紐や布団をヘアピン等で止めておくと歩いててもずれにくくなります

まゆ墨
黒または赤



男女とも同じです
可愛いお化粧を
してあげましょう
嫌がる場合は
無理矢理する必要は
ありません



**蓮と稚児念珠（お数珠）は
記念品です**

**蓮と稚児念珠（お数珠）の
返却は不要です**

**稚児練り供養の記念として
各人でお持ちください**

お問い合わせ

ごくらくや佛壇店
本店

電話 079-421-3000

もしくは

稚児出仕される
ご寺院様・役員様まで
ご連絡ください